

# 2025年日本国際博覧会 施設整備に関するユニバーサルデザインワークショップ 第4回移動・案内・誘導に関する検討会の議事概要について

## 会議概要

日時	2023年6月30日(金) 13時から15時10分まで
場所	ATC2階メインゲート及び博覧会協会ATC12階会議室H+WEB
委員出席者 (順不同、敬称略)	高橋儀平[東洋大学 名誉教授]、三星昭宏[近畿大学理工学部 名誉教授]、内田敬[大阪公立大学大学院工学研究科 教授]、石塚裕子[東北福祉大学総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科 教授]、柳原崇男[近畿大学理工学部社会環境工学部 准教授]、室崎千重[奈良女子大学生活環境学部住環境学科 准教授]、小尾隆一[社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 常務理事]、六條友聡[ちゅうぶ 理事]、鈴木千春[障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 運営委員]、渡部安世[特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会 会長]、吉川ひとみ[アクセス関西ネットワーク]、西村秀樹[滋賀県視覚障害者福祉協会]、岸本慶子[自立生活夢宙センター交通アクセス担当]、海老澤弥生[きんきビジョンサポート]、伊良原淳也[関西STS連絡会 代表]、堀篤子[ちゅうぶ障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 スタッフ交通部担当]、橋口亜希子[橋口亜希子個人事務所 代表]、中村香子[障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議]、矢倉紀[大阪盲ろう者友の会 代表理事]
検討対象施設	会場全体(園路・広場など)
検討テーマ	①サインのサンプル確認

## 主なご意見

### サイン全般について

- ・モックアップではコントラストがなく、全く見えなかった。**淡い色遣いはわかりにくい。白黒反転がよい。白抜き文字を使うなら黒い縁を入れてはどうか。**
- ・全体的にもう少し**文字を大きくするべき**。アルファベット表記や漢字にルビを打ってほしい。
- ・ゲートへ帰るルートも誘導してほしい。
- ・近づいてみられるよう、**サイン周辺には植栽などを設けなくてほしい。**
- ・**サインを照らす照明は併設されているか。**設置される場合、**ちらつきなど検証が必要。**
- ・**色褪せ対策が必要にならないか懸念している。**
- ・案内表示を示す「i」マークを大きく表示してほしい。
- ・**緊急事態を知らせるパトライトなどを併設してほしい。**
- ・**多数の人が集まっても見えやすいように、自立形式の表示板をもう少し高くできないか。**
- ・**サインの高さが高すぎると、車いす使用者や弱視の人は見えづらい。**

### 全体概略案内サインについて

- ・会場全体がブロック分けされていることで、わかりやすい。
- ・**コントラストが小さく見え辛いので、文字に縁取りを入れてはどうか。**
- ・ブロックの表現に**水玉模様などのハッチングを入れるだけで、色覚異常者には見えやすくなることもある。**
- ・**施設一覧の情報が多いため、ブロック(色)ごとにまとめて、その中で50音順に表示してはどうか。**また、地番も併記してはどうか。

### 周辺案内サインについて

- ・**自分の向いている方向が地図の上になるよう、マップの向きに注意してほしい。**
- ・円弧を追記して、**現在地からの距離がわかるようにしてはどうか。**また、合わせて**所要時間も併記できないか。**
- ・**地番表記は10刻みでもよいのではないか。情報量を減らす代わりに、文字を大きくしてほしい。**

### 施設誘導サインについて

- ・情報量が多すぎず、シンプルでよい。
- ・ブロックの案内の標示は、近い順に表示されているのか、縦に読むのか横に読むのかわかりにくい。
- ・**サービス施設やトイレなどの表示位置を、他の場所にあるサインと統一することで、見つけやすくなりやすい。**
- ・**矢印が「↑」だけだと、直進かリングの上を示しているのかわかりづらい。「↑(直進)」とするのはどうか。**

### 局地誘導サインについて

- ・リング柱に直接印字する際、**コントラストがはっきりせず見えにくいのではないか。**
- ・リング柱への**地番表記は、文字をもっと大きくしてほしい。**
- ・**梁にもサインを使用することで、文字を大きくするなど有効に使えるのではないか。**

### ロービジョンの誘導補助について

- ・**車いす使用者にとって、上方にあるサインを見続けることは難しいので、床面のサインはとても助かる。**

## 会場全体

### まとめ(決定事項)

- ・色覚異常の方のご意見なども参考にしながら、コントラストにも配慮してカラープランを決定する。
- ・サイン自体の大きさは、目的別に独立したサインとし、必要な情報、視認距離、文字サイズを確保しつつ、サイン自体が大きくなりすぎないように調整する。
- ・サイン本体のデザインに黒色のフレームを採用し、サイン自体を白くすることで、屋外において、遠方からでもよりサインを認識しやすいデザインを採用する。
- ・目的施設までの距離表記があると安心できるとのご意見を受け、施設誘導サインに距離表記を行う。
- ・敷地境界などを基準とした点字ブロックの配置に関する規定は設けず、会場の状況にフレキシブルに対応できるように、地図上で極力直線で結べる位置に誘導ブロックを配置する方針とする。
- ・暴露試験を実施し、検証結果を参考に、会期中に色あせることが無いよう検討する。
- ・リングは円形の動線で、梁にサインを設置した場合は遠方から見たときに柱や梁の死角となるため、遠くからでも視認できるように、サインは柱に縦書きで設置する原案のままとする。
- ・現時点では未確定事項も多く、何かを決定できる状況ではないが、いただいたご意見を参考に、協会として、より見えやすく分かりやすいサインとなるよう調整する。

